新刊案内
町立図書館

◎9月の新刊

▼文学　あなたには帰る家がある（山本文緒）楽譜帳（中沢けい）言葉が輝くとき（辻邦生）袖すりあうも他生の縁（清水義範）ホンベンの男たち（吉川潮）本多正純異聞（斉藤吉見）祝福の園の殺人（篠田真由美）独眼竜の涙（赤木駿介）月王譚（小沢淳）彩雲の抄上（白石フミコ）ピンクのチョコレート（林真理子）独身術（伊佐山ひろ子）みみずくの宙返り（五木寛之）蒼い牙（勝目梓）わたしが泣くとき（黒木瞳）会うは盗みの始めなり、三毛猫ホームズの安息日（赤川次郎）美幌峠殺人事件（木谷恭介）怪談、無情坂の女、瀬戸内二十年目殺人（斉藤澪）明日のない報酬（志茂田景樹）老神温泉殺人事件（中町信）松島・蔵王殺人事件、津軽・陸中殺人ルート（西村京太郎）伊豆死刑台の吊り橋（和久峻三）366番目の夜（樹川さとみ）涙（高橋三千綱）いちご同盟（三田誠広）恐怖の骨格（森村誠一）愛の殺人気流（山村美紗）影絵（渡辺淳一）宿敵（小杉健治）特効薬漂流す（三浦浩）いまひとたびの（志水辰夫）闇の戦場（鳴海章）俺たちの水晶宮（彰山雄作）虹を操る少年（東野圭吾）江戸の女坂（南原幹雄）すぐそこまで来ていながら（杉森久英）悦楽の旅人（夢枕獏）砂漠の岸に咲け（笹倉明）交差点で石蹴り（都ようこ）言いたいこと、言うべきこと（田中康夫）胡蝶の陣（陳舜臣）深夜の散歩（辻井喬）傷春譜（檜井亜木子）揺れ動く緑の木（大江健三郎）銀狐抄（宮本徳蔵）一瞬の魔（夏樹静子）おカルトお毒味定食（松浦理英子）少女びより（堀田あけみ）時のせせらぎ（三浦哲郎）白いメリーさん（中島らも）八百八町の名探偵（岡本綺堂）陽気な夜まわり（吉井由吉）文学的散歩（中村真一郎）夏帽子（長野まゆみ）男の背中（緒井薫）脅迫者たちのサーカス（日下圭介）狐狸庵閑談（遠藤周作）セラフィムの夜（花村萬月）平家物語3（森村誠一）森の匂い（檜井亜木子）骨壺の話（水上勉）饗肉（小池真理子）新編太平記巻16（森村誠一）いとしのリリー（栗本薫）軽薄のすすめ（吉行淳之介）マノンの肉体（辻原登）ミステリーズ（山口雅也）

▼総記　日本人の大疑問1

▼哲学　偽りの愛、真実の愛（加藤諦三）

▼歴史　ローマ人の物語3勝者の混迷（塩野七生）会津藩の女たち（柴桂子）七三一部隊のはなし（西野留美子）田中角栄を生んだムラ（江波戸哲夫）男のうた（佐高信）旅の王（三輪晃久）昭和名侠伝鬼魂（正延哲士）新潟港と渓谷を行く（伊東敬一）

▼社会科学　永田町大乱（鈴木棟一）改革という美名の下で（野田聖）河野洋平と小沢一郎の大戦略（本澤二郎）良い円高悪い円高（リチャード・クー）かしこい母になりなさい（田中澄江）長男と結婚するために（畑田国男）若者にとって幸せとは（藤竹暁）政界大再編（桝添要一）小沢一郎の深謀なる戦略（山本峯章）平成の改新（吉田和男）エロチックな政治（新井将敬）いのちの表札、お墓（柳橋圭計）

▼自然科学　鳥の渡りの謎（R.ロビンベーカーほか）骨が消えた！（阿部幸治）脳を育てる生き方18章（千葉康則）この病気にこの食（宗像伸子）老化の原因は「ムコ多糖」の不足だった（森本雅悠）あるエイズ患者の祈り（河野通宏）医者が、がんで死と向かい合うとき（希施徳馬）

▼技術　おばちゃんの家事秘伝（赤木春恵）

▼産業　あなたもできる花仕事（東潔）人生は、オモロイ（宮路年雄）流通のヒミツ、交通大戦争

▼芸術　はだしのゲン自伝（中沢啓治）山口美江という「私」（山口美江）風を摘むブシケ（池田理代子）

歯の健康一口メモ

歯が1本ないと

私達はふだん食べたり、しゃべったり、笑ったりしていますが、それは歯が全部そろっているお陰です。

もし、たった1本でも歯を失ったとしたら、いったいどうなるでしょうか。思いもかけないほど、いろいろな問題が口の中に起こってきますが、最も重大なことは咬み合わせの問題でしょう。

どの歯もすべて上下に向きあったもの同士がペアで機能しています。したがって、歯を1本失うということは、その対合歯も巻き添えにして、役に立たなくなってしまいます。

ピーナツや生米による実験では、下顎の6才臼歯を1本失っても、食物の粉砕能率は、以前に比べてなんと60%に落ちてしまうことが明らかになっています。

新潟県歯科医師会

♥保健衛生だより♥

♥11月の行事

※平成6年10月1日より予防接種法が改正になり国民の予防接種を受ける義務が、努力義務に改められることになりましたが、感染症対策における予防接種の意義及び重要性は変わるものではなく、国民が予防接種を正しく理解した上で接種を受ける制度となりました。

保護者は、接種前に町から配られたパンフレットを必ず読んで、医師と十分話し合って、予防接種を受けてください。

予防接種は健康な人が元気な時に接種を受け、その病原体の感染を予防するものですから、体調のよい時に受けるのが原則です。日ごろから保護者の皆さんはお子さまの体質、体調など健康状態によく気を配ってください。そして何か気にかかることがあれば、あらかじめかかりつけの先生や役場担当課にご相談ください。

「予診票」は、予防接種による副作用や事故を防ぐために事前に健康状態を細かくチェックするものです。お母さんは健康状態をよく観察し、「予診票」には、正確に記入してください。

♥1歳6か月児健診

11月8日　受付時間＝午後1時～1時20分
対象＝平成5年4月生まれと5月生まれの人

♥ポリオ（小児マヒ生ワクチン投与）

11月9日　大野、木場校区の人
11月16日　板井、黒鳥、山田、立仏校区の人
（都合の悪い人はどちらかよい日に受けてください。）
時間＝午後1時30分～2時30分（時間厳守）
対象＝生後3か月～48か月の人
※6週間以上の間隔をおいて2回経口投与します。なるべく2回とも生後18か月までに飲ませ終ることが望ましい。
（1回飲ませ終ってから2回目の間隔があきすぎても生後48か月まで飲ませられますので必ず2回飲ませてください。）

♥乳児健診

11月15日　受付時間＝午後1時～1時20分
対象＝平成6年1月生まれと2月生まれの人
◎前回の健診時に育児ノートをもらった人は持参してください。

♥三種混合予防接種

11月18日　時間＝午後1時30分～2時30分（時間厳守）
対象＝生後6か月～48か月までの人
◎第一期　3～8週間の間隔で3回接種する人
◎第二期　第一期の3回目を受けてから12か月から18か月までの間に1回接種を受ける人
◎第一期、第二期とも生後48か月までに終了すること。ただし、第二期が48か月までに受けられなかった場合は、66か月まで受けられます。
※予防接種時には、母子手帳を持参ください。
※体温が37.5℃以上ある時は接種できません。
※予診票の保護者サインは親か祖父母でもよいですが、子守はだめですので、必ず保護者の方が連れてきてください。

♥2歳児育児相談会

11月24日　受付時間　午後1時～1時20分
対象＝平成4年10月生まれと11月生まれの人
内容＝発育の確認、育児相談、母親同志の交流、親子遊びなど
※会場はいずれも農村環境改善センターです。

♥健康なんでも相談

11月2日　時間＝午後1時～3時
会場＝役場本庁　町民相談室
都合の悪い場合は、電話相談も受け付けます。お気軽にご相談ください。
☎377―3101（内線126か127）
※各月の行事予定は、健康カレンダーをご活用ください。